



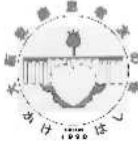
発行

NPO法人 大阪難病連加盟
大阪乾癬患者友の会(梯の会)

特集

日本生命病院「いい皮膚の日」

第48回学習懇談会



・・・ Index ・・・

・会長挨拶	P1	・佐野先生講演録	P21
・活動報告・活動方針	P2	・患者体験談(山田・岡田)	P30
・決算報告・予算案	P3	・学習会アンケート	P35
・東山先生講演録	P4	・乾癬あれこれ	P37
・高山・丸岡・佐原看護師講演	P13	・乾癬ワンポイントアドバイス	P38

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年2023年12月に本会発足25周年を迎えました。新型コロナウイルスはインフルエンザ並みの疾患となり社会情勢はかなり落ち着いてきたと思えます。しかし比較的重症になる可能性のある疾患が一つ増えたわけで、基礎疾患を持つている乾癬患者にはなお気の抜けない状況です。医療関係機関では今なおかなり厳しい感染予防対策が行われており何かと行動しにくい状況が続いています。当会ではこの状況を考え無理のない活動を継続していく予定です。大阪乾癬患者友の会(梯の会)発足以来25年間に乾癬を取り巻く環境は大きく変わってきました。大きくは画期的な新薬の登場、特に生物学的製剤などのおかげで治療へのなすすべの少なかった当時「乾癬が不治の病である」と言う認識は過去のものとなり、適切な治療を受ければ「普通の生活を送れる」ようになってきました。

これは全国の患者会一丸となつての啓蒙活動や生物学的製剤の早期承認活動により疾病に関しての社会の認識は高まり、また生物学的製剤をはじめ治療に有効な薬剤が多数開発されてきたことにあります。しかし今なおこの恩恵を受けることができない方も多くいらっしゃいます。最近ではネット環境の変化やSNSなどによる表面的な情報は多く出回っています。しかし不正確なネットの情報に惑わされている乾癬患者さんも多く存在しています。このような状況を踏まえ、当会では引き続き疾病に関する患者と医療者に向けての正しい情報発信と、不安解消を主目的とした患者同士の交流活動を続けていくつもりです。乾癬でお困りの方に会ったら是非患者会を紹介してください。皆様一緒に健康な生活を維持していきましょう。2023年は2回の対面の学習懇談会を開催することができました。併せ

て懇親会も開催できました。会報は3回発行することができました。乾皮フ科クリニックでの懇談会も開催できました。全国の行事で乾癬学会関連行事(東京/お台場)も参加できています。なんとか患者会活動も正常軌道に戻ってきたと感じています。2024年度は昨年の実績を踏まえ昨年同様対面で開催していく予定とされています。春は5月下旬から6月上旬頃に北大阪の吹田市の大阪大学附属病院の関連施設で25周年記念行事の開催を予定しています。最近ではWebでのイベントの参加を求められる方もいらっしゃると思いますが、昨年同様webでは行わず、行事等の記録をつぶさに会報に載せて情報を提供させていただきます。また日本乾癬患者連合会では、詳細は未定ですが、8月24日～25日の日本乾癬学会の学術大会(大阪 グラフフロント大阪にて開催予定)に併せて学習懇談会を8月25日の夕刻、懇親会を8月24日の夕刻に大阪梅田の周辺で開催の予定をしています。こちらも是非ご参加ください。今年も皆様の健康な生活を願っています。本年も会の運営にご支援ご鞭撻よろしくお願い致します。

ご挨拶

継続的な情報発信と交流活動に向けて

会長 岡田